

事務事業名		JAみなみ信州畜産共進会支援事業				会計	一般会計				
						事業種別	政策	開始		終了	
課等名	農業課	係等名	生産振興係								
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり								
	施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化								
目的	対象(誰・何を)	みなみ信州農業協同組合				対象指標	指標名及び単位		24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	共進会の運営をしてもらう部門毎に賞を与えることにより、生産農家の生産意欲の向上と品質向上につながる					畜産農家数(肉牛、養豚):戸	79			
	向上させたい上位施策の成果指標	既存農業者の産出額(農業):億円					飼養頭数(肉牛・養豚):頭	14556			
目標	種別	指標名及び単位				24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	出品頭数:頭				110	119	120	120		
	成果指標	出品頭数÷畜産農家戸数=出品率				1.32	1.43	1.03	1.44		
	定性目標										
事業概要	<p>飯田下伊那地域の家畜改良と畜産振興を図り、農業経営の向上に資することを目的として開催される畜産共進会の運営を支援する。(負担金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この共進会は、長野県畜産共進会の予選会も兼ねている。長野県内各地域で開催されているが、他地域については審査員が農家巡回時に審査を行っており、農家から集蓄方式で開催されるのは当地域のみである。集蓄方式で開催されるメリットは、畜産農家が一同に介することによる技術の向上と意識の高揚である。</li> <li>共進会はそれぞれの畜種ごとに部門を分け開催。(豚肉枝肉の部、種牛の部、肉牛の部、肉牛枝肉の部、酪農会場)</li> </ul>										
事業内容						名称		活動指標			
24年度事業内容	1 後援団体会議への参画 2 畜産共進会への支援 ・肉牛の部、種牛の部、肉牛枝肉の部、豚肉枝肉の部、酪農の部					共進会の開催数		5回			
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		150	150	150	150						
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他											
一般財源		150	150	150	150						
人件費計(千円)②		143	/	143	/						
正規職員所要時間		40		40							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		293	150	293	150						
事業内容・目標達成状況の振り返り	畜産農家の高齢化や飼料の高騰等の影響により、農家数及び飼育頭数が減少しているが、共進会への出品率は安定している。畜産農家が一同に介することによって畜産農家の情報交換等、技術の向上と意識の高揚につながっている。また、全国和牛能力共進会に県代表5頭の内、南信州地域から3頭が出品され、当地域のレベルの高さが証明された。										
改革改善の考え方	①問題点	地域の多くの方に畜産業を理解していただくとともに、当地域の畜産物の品質の高さを生産団体と連携して域外へPRしていく必要がある。									
	②改革提案	生産基盤の維持、拡大、畜産農家の情報交換等、今以上に、技術の向上と意識の高揚が高まるような取り組みが必要である。また、当地域の畜産物の品質の高さを生産団体と連携してPRしていく。									